



ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注)

この内容は ViewMail for Outlook バージョン 8.0 にのみ適用されます。ViewMail の新しいバージョンの場合は、『*Quick Start Guide for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』(リリース 8.5 以降) (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html) を参照してください。

- 「ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)」(P.7)
- 「メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)」(P.8)
- 「メッセージへの返信 (バージョン 8.0 のみ)」(P.9)
- 「ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)」(P.9)
- 「削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)」(P.10)

ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージはユーザだけでなく、パブリック同報リストと電子メール アドレスに対して送信、返信、転送できます。

組織に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションにいるユーザにメッセージを送信したり、メッセージに返信したりすることができます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります (「[メールボックスのサイズの管理](#)」(P.27) を参照)。

ボイス メッセージを送信するには

- ステップ 1** Outlook 受信ボックスの Outlook ツールバーで、[新しいボイスメッセージ] アイコンをクリックします。
- または
- [アクション] メニューの [新しいボイスメッセージ] をクリックします。

ステップ 2 Connection のユーザ名または電子メール アドレスおよび件名を入力します。



(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

ステップ 3 Media Master で、[録音] (円) をクリックし、メッセージを録音します。

ステップ 4 録音が終了したら、[停止] (四角) をクリックします。

ステップ 5 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。

ステップ 6 [送信] をクリックします。

メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

新しいメッセージを一度開くと、削除するまでそのメッセージは保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されているかどうか、およびそのように設定されている場合、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を管理者に確認してください。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

[送信元] フィールドの情報は送信者を示します。このフィールドには Connection ユーザの名前が表示されます。また、Connection 以外のユーザが残したメッセージ、またはメッセージが残るまで Connection にログインしなかったユーザには、「Unity Connection メッセージシステム」と表示されます。[件名] フィールドには、発信者の電話番号 (使用可能な場合) が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファクス メッセージなど) が示される場合があります。

メッセージを確認するには

ステップ 1 ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Outlook のプレビュー ペインでは、メッセージは確認できません。

ステップ 2 開いているボイス メッセージで、Media Master の [再生] (右矢印) をクリックしてメッセージを再生します。

ステップ 3 メッセージ内のメッセージ ツールバーのボタンを使用して、電子メール メッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。



(注) 受信ボックス内のすべてのメッセージが既読状態である場合でも、Outlook の封筒アイコンは閉じたままです。

メッセージへの返信（バージョン 8.0 のみ）

ここに示す手順を実行して、ボイス メッセージに返信するか、返信を録音して電子メール メッセージに返信します。送信者だけに返信することができます。また、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection メッセージシステム」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージが残されたときにログインしていなかったことを示します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

メッセージに返信するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[返信] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション] メニューの [音声で返信] をクリックします。
 - ステップ 2** Media Master で、[録音]（円） をクリックします。
 - ステップ 3** 録音を終了したら、[停止]（四角） をクリックします。
 - ステップ 4** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
 - ステップ 5** [送信] をクリックします。
-

ボイス メッセージの転送（バージョン 8.0 のみ）

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージを転送するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[転送] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション] メニューの [音声で転送] をクリックします。
 - ステップ 2** 受信者の名前を入力します。
 - ステップ 3** Media Master で、[録音]（円） をクリックし、コメントを録音します。
 - ステップ 4** 録音を終了したら、[停止]（四角） をクリックします。
 - ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
 - ステップ 6** [送信] をクリックします。
-

削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メールメッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除されたボイス メッセージは、灰色の取り消し線付きのテキストで表示されます。削除されたボイス メッセージは、Cisco Unity Connection で消去されるまでボイス メッセージ フォルダに保存されます。

Connection では、特定の時間が経過すると、削除されたメッセージを自動的に消去できます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。



ヒント

ボイス メッセージを削除する前にアーカイブするには、Media Master のオプション メニューの [ファイルにコピー] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

削除されたメッセージを手動で消去するには

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、[編集] メニューの [削除済みメッセージの削除] をクリックします。